

【公募型シンポジウム概要】

タイトル「NMR の強みを生かした生体系への応用」

核磁気共鳴法は構造生物学において重要な測定法である。その特徴は、生理的条件下でのタンパク質などの生体分子の構造情報を抽出することにある。ここでは、試料調製法などを工夫して機能にかかわる有用な情報を取り出し生体機能の解明を行っている研究例を紹介する。

NMR spectroscopy, which provides information about structures and dynamic of biomolecules under physiological conditions, contributes to structural biology immensely. In our proposed symposium, we will show NMR applications, including sample preparations, for better understanding of the functions of the biomolecules.